

【別紙３－１】

企画コンペ課題(岩手県広報誌「いわてグラフ」について)

広報基本計画を実現するためのクリエイティブ能力の審査を行うに当たり、所要の仕様を定める。

- 提出書類 ① 岩手県広報誌（いわてグラフ）企画制作等提案書【様式３－１】
② 岩手県広報誌（いわてグラフ）に係る見本誌

Ⅰ 総合課題 見本の制作（制作基調）	
1 全体の体裁	<p>(1) 下記仕様に基づいた冊子形式の見本を制作すること（紙質は自由）。</p> <p>① 判型 A 4 版</p> <p>② 頁数 12 頁</p> <p>③ 広告 2 枠（1 枠あたり左右 185mm×天地 50mm）</p> <p>④ 刷色 カラー（視覚障がい者等に配慮しユニバーサルデザインを心がけること）</p> <p>⑤ 文字の大きさ 本文は 16.5 級程度とし、高齢者等に配慮すること。</p> <p>(2) 各頁に頁数を記入すること。</p> <p>(3) 各コーナー企画の配置を行い、その掲載頁が明らかになるように、コーナー企画名を見本中の必要な部分に記載すること。</p> <p>(4) 全体頁構成については、【別紙３－２】「令和８年度及び９年度岩手県広報誌（いわてグラフ）頁構成」を参照のこと。</p> <p>(5) 「Ⅱ 個別課題」以外についてはダミー頁とするが、レイアウト・デザイン処理をし、全体の体裁が分かるようにすること。</p>
2 個別課題部分の体裁	<p>下記個別課題については、各号で規定する「広報のねらい」等に従い、当該企画の掲載頁に記事及び写真・イラスト・データ等を掲載するなど、多くの県民の接触率を高め、より広報の効果高める工夫をすること。</p> <p>なお、写真等の内容・点数は自由であること。</p>
Ⅱ 個別課題 記事制作	
1 【必須提案：表紙】	
(1) 広報のねらい	県民に希望を与えるとともに、全体頁の閲読意欲を高める目的で作成すること。
(2) 参考資料	特になし
(3) 提案方法	上記広報のねらいを踏まえ、「いわてグラフ」のロゴを含むデザインで表紙（１頁）を制作すること。
2 【必須提案：企画１】 「いわて県民計画（2019～2028）」の取組をテーマとしたシリーズ企画	
(1) 広報のねらい	「いわて県民計画（2019～2028）」の取組を紹介し、県政に対する県民の関心と理解を深め、県政への参加意欲の向上を図るような視点で作成すること。
(2) 参考資料	特になし
(3) 提案方法	上記広報のねらいを踏まえ、コンペ参加者の独自視点により制作し、【別紙３－２】「令和８年度及び９年度岩手県広報誌（いわてグラフ）頁構成」による該当頁に掲載すること。
3 【必須提案：企画２】 三陸沿岸の魅力をテーマとしたシリーズ企画	
(1) 広報のねらい	三陸沿岸の魅力を広く県民に知ってもらう視点で作成すること。
(2) 参考資料	特になし

(3) 提案方法	上記広報のねらいを踏まえ、コンペ参加者の独自視点により制作し、【別紙３－２】「令和８年度及び９年度岩手県広報誌(いわてグラフ)頁構成」による該当頁に掲載すること。
4【必須提案：企画３】 農林水産業、建設業・製造業で活躍する女性紹介をテーマとしたシリーズ企画	
(1) 広報のねらい	農林水産業、建設業・製造業等各産業の魅力や各産業で活躍する女性を紹介し、女性活躍の機運を醸成するような視点で作成すること。
(2) 参考資料	特になし
(3) 提案方法	上記広報のねらいを踏まえ、コンペ参加者の独自視点により制作し、【別紙３－２】「令和８年度及び９年度岩手県広報誌(いわてグラフ)頁構成」による該当頁に掲載すること。
5【必須提案：裏表紙】県政や地域への興味・関心を醸成するシリーズ企画	
(1) 広報のねらい	「岩手とつながる（関係人口、二地域居住、ＵＩＪターンなど）」をテーマに、これまで「いわてグラフ」を閲読する習慣がなかった県民を含めたより多くの県民の県政や地域への興味・関心を醸成する視点で作成すること。
(2) 提案方法	上記広報のねらいを踏まえ、コンペ参加者の独自視点により制作し、裏表紙(12頁)に掲載すること。
留意事項 (1) 個別課題制作に当たっては、県への直接取材は差し控えていただきたいこと。また、取材に際して、インタビューや撮影を行う場合は見本誌制作に当たっての取材であり、必ずしも掲載になるものではないことを説明すること。 (2) 「Ⅱ 個別課題」以外の頁についてはダミー頁とするが、レイアウト・デザイン処理を施し冊子全体の体裁を整えたうえで見本誌を制作すること。 (3) 今回の個別課題は、テーマの一つとして採用したいと考えていること（構成等については修正を行う場合があること）。	